

第13回 さがの映像祭

2017.1/28[土]~29[日]

司会: 山本真記子 (目で聴くテレビ手話キャスター)

手話や映像関係の
販売・展示も募集中



第13回映像作品コンクール

応募作品上映

ハーディーホール

1/28 [土] 13:00~14:30 Aグループ

1/29 [日] 10:00~12:00 Bグループ

※クローバーホールでも上映 ※上映作品は公式サイト掲載予定

会場特別賞
作品投票を
しよう!

審査発表・表彰式・審査員講評 1/29[日]15:10~

【審査員】(50音順)

- 池田 和生 (元KBS京都放送ディレクター)
- 井上 泰治 (映画監督。主な作品に「水戸黄門」ほか)
- 今村 彩子 (映画監督。Studio AYA 代表)
- 大館 信広 (映画監督。デフムービーエンターテインメントプロディア代表)
- 金山 智子 (岐阜県立情報科学芸術大学院大学教授)
- 高田 英一 (特定非常利活動法人CS障害者放送統一機構理事長)
- 津田 正夫 (元立命館大学教授、元NHKチーフプロデューサー)
- 早瀬 憲太郎 (映画「ゆずり葉」「生命のことづけ」監督)
- 横地 由起子 (京都シネマ支配人)

自転車日本縦断ロードムービー スタートライン

Start Line

1/28(土)14:40~上映

生まれつき耳の聞こえない映画監督が、自転車で沖縄→北海道日本縦断の旅へ。コミュニケーションの壁にへこみ、涙しながらも走り続ける57日間の記録。伴走カメラマン哲さんの叱咤激励、聴力を失った旅人ウィルとの出会い…ニッポン中のためらう人に観てほしい、一篇の勇気のおすそわけ。
(2016/112分)



今村彩子監督ワークショップ
○映画上映終了後 16:45~
○地下A会議室にて



いまむらあやこ: 愛知県出身。映画監督で大学非常勤講師。自主上映や講演活動を精力的にこなしている。

劇団あしたの会 昨日・今日・明日



©劇団あしたの会

1/28(土)16:50~上演

出演 蒲原敏光 志水陽一 一文字鷹 高井恵美

時代は2030年、手話言語法制定から10数年後。2人のろう者が、手話言語法ができてからの変化について話していると「歴史じいさん」と名乗る老人がやってきて、ろう者が苦しみ戦った過去のことについて話し出す……。

函館珈琲 1/29(日)13:00~上映

HAKODATE Coffee



©HAKODATEproject2016

主演 黄川田将也
監督 西尾孔志
脚本 (函館港イルミナシオン映画祭 2013年度函館市長賞) いたう菜のは

函館の街にひっそりと佇む古い西洋風アパート翡翠館。装飾ガラス職人を目指す堀池一子。ティベアアーティスト相澤幸太郎。ピンホールカメラ専門の写真家藤村佐和。夏のあの日、やってきた松山英二。翡翠館に集う若者たちの出会いと葛藤を描き出す。(2016/90分) 日本語字幕上映(別画面)

会場

同志社大学 寒梅館
ハーディーホール
(寒梅館地下1階)

京都市上京区烏丸通上立売下ル御所八幡町103

- 京都市営地下鉄烏丸線「今出川駅」下車
②番出口より北へ60m程。
- 駐車場・駐輪場はございません。
公共交通機関をご利用ください。



※当日の催し等は変更になる場合があります
※全国手話研修センター公式サイトにも詳細を掲載いたします
<http://www.com-sagano.com/> (QRコード下記)

映像祭に関するお問い合わせ先

第13回さがの映像祭実行委員会 事務局
(社会福祉法人 全国手話研修センター 企画課)
〒616-8372 京都市右京区嵯峨天龍寺広道町3-4
FAX 075-873-2647 TEL 075-873-2646
Email kikaku@com-sagano.com



ワークショップ申込書(FAX 075-873-2647)※ワークショップ参加は無料ですが、入場には映像祭チケットが必要です。

1. 申込希望ワークショップ ※○をつけてください (複数申込可)

() 1/28 今村彩子監督ワークショップ () 1/29 ろう映画関連ワークショップ (仮題)

2. お名前 (聴覚障害の有無)

_____ (聴覚障害者・健聴者)
_____ (聴覚障害者・健聴者)
_____ (聴覚障害者・健聴者)

3. 連絡先 (FAX・TEL・Email など)

【備考】